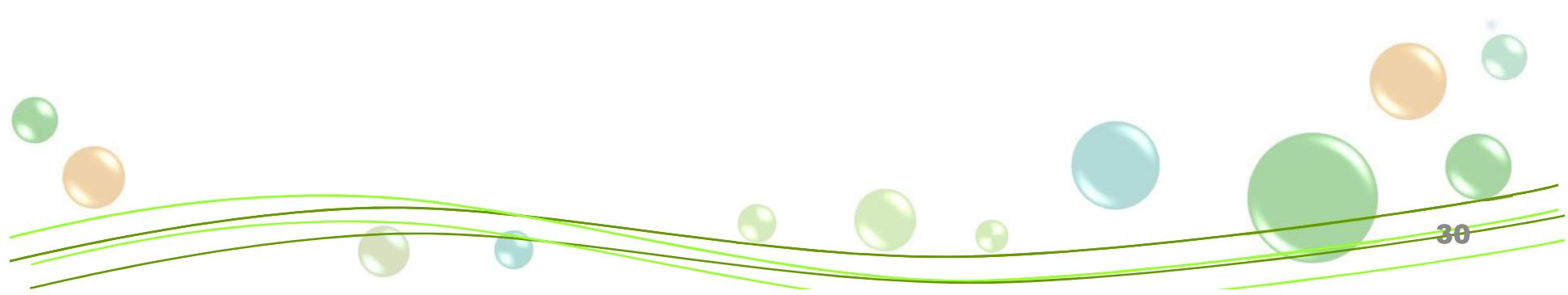
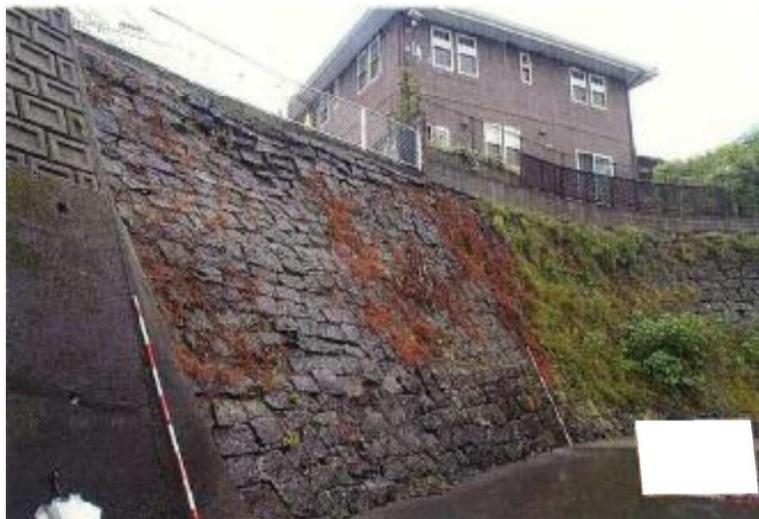


【例題-4】



例題-4(現場写真)

①



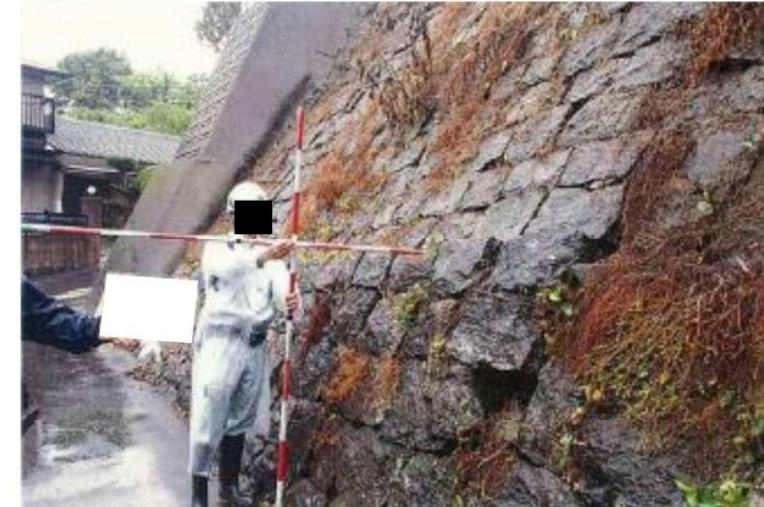
②



③

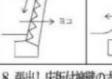
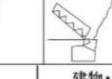
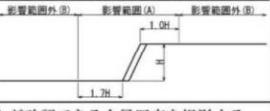
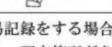
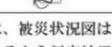
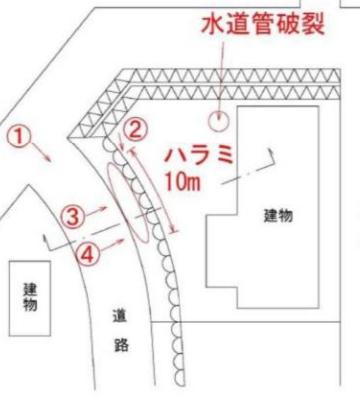
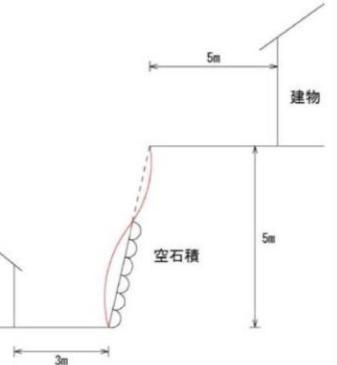


④



例題-4

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

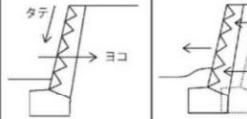
調査票		調査日時	年	月	日	時	調査番号										
被災発生場所		都道府県				市町村											
		地区				丁目 番号											
所有者・管理者氏名		記入者氏名		TEL:													
所有者・管理者の連絡先		TEL:		居住者への説明		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 居住者不在 <input type="checkbox"/> 老人独居住宅											
<被災状況図>							<input type="checkbox"/> 応急措置 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録										
1.クラック		2.水平移動		3-1.不同沈下		3-2.目地の開き		4.ハラミ		5-1.傾斜		5-2.倒壊		6.擁壁の折損		7.崩壊	
																	
						建物・道路との位置関係(基礎点) 											
																	
<p>※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。</p>																	
																	
[平面図]							[断面図]										
被災写真の有無		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→写真番号 []]															
特記事項																	

例題-4

擁壁の基礎的条件	擁壁の構造	□L逆T型		□重力式		□増積み擁壁	増積部分		上部高 m 増設高 m		
		□コンクリート系擁壁		□もたれ式			擁壁部分				
		□その他		□場所打ち			上部				
基礎点	擁壁の構造	□練石積擁壁		□フレキスト		□二段擁壁	上部		上部高 m 下部高 m		
		□間地石		□コンクリートブロック			下部				
		□その他		□玉石積			上部高 m 下部高 m				
基礎点	擁壁の構造	□空石積擁壁		□くずれ石積		□張出し床版付擁壁		□その他			
		□間地石		□間地石		擁壁の設置条件		□切土・盛土層 □軟弱地盤上 □他 □不明			
		□その他		□擁壁の均配		度 又は (1 :)		□影響範囲に建物または道路がある			
基礎点	擁壁の構造	①漏水		乾燥		0		0			
		漏雨		0.4		0.2		0.4			
		にじみ出し、漏出		0.8		0.4		0.4			
基礎点	擁壁の構造	②排水施設		水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透防止		0		0			
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい		0.4		0.2		0.2			
		水抜孔無、あっても數・寸法が不適当		0.8		0.4		0.4			
基礎点	擁壁の構造	③高さ		H≤1m		0		0			
		1m < H ≤ 3m		0.2		0.1		0.1			
		3m < H ≤ 4m		0.4		0.2		0.2			
変状形態と変状点	変状形態	4m < H ≤ 5m		0.6		0.3		0.3			
		5m < H		0.8		0.4		0.4			
		程度		小		中		大			
変状形態と変状点	変状の程度	項目		擁壁種類		コンクリート		擁壁種類			
		1 クラック		2		3.5		4			
		2 水平移動		2.5		4		5			
変状の程度	大・中・小の概要説明	3 不同沈下・目地の開き		3.5		4.5		7			
		4 ハラミ		4.5		5		9			
		5 傾斜・倒壊		5.5		7		9			
変状の程度	大・中・小の概要説明	6 拥壁の折損		6.5		7		10			
		7 崩壊		9		10		10			
		8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷		10		10		10			
変状の程度	大・中・小の概要説明	9 基礎及び基礎地盤の被害		10		10		10			
		10 排水施設の変状		3		5		7			
		11 拥壁背面の水道管等破裂		10		10		10			
変状の程度	大・中・小の概要説明	項目/程度		小		中		大			
		1 クラック		2 mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合 2 mm未満)		2mm~20 mm未満(コンクリート系擁壁の場合 2mm~5 mm未満)		20 mm以上(コンクリート系擁壁の場合 5 mm以上)			
		2 水平移動		5 mm未満の瞬間変位がある。		5 mm~50 mm未満の瞬間変位がある		50 mm以上の瞬間変位がある			
変状の程度	大・中・小の概要説明	3 不同沈下・目地の開き		5 mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。		5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。		50 mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。			
		4 ハラミ		小規模のハラミ及び中抜け(積石が1~2個抜け落ちる)		1 宅地盤にテンションクラック無し		宅地盤にテンションクラック有り			
		5 傾斜・倒壊		擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合: 天端 50 mm以上の傾斜)		擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合: 天端 50 mm以上の傾斜)		擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っているもの。			
変状の程度	大・中・小の概要説明	6 拥壁の折損		クラックを境にわざかに角度をなしていいる。		クラックを境に明らかに角度をなしていおり、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわざかに前傾している。)		一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1 mでも剪断破壊があり後傾している。)			
		7 崩壊		中間辺りから上が滑っている。		基礎部を残して滑っている。		機能を果たしていない。			
		8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷		支柱にひびが入っている。		支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。		支柱の剪断破壊。			
変状の程度	大・中・小の概要説明	9 基礎及び基礎地盤の被害		大規模な沈下やクラックが生じている。		左に加え擁壁のクラック又は目地からの漏水がある。		水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失されている。			
		10 排水施設の変状		天端排水溝に流れ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。		左に加え擁壁のクラック又は目地からの漏水がある。		水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失されている。			
		11 拥壁背面の水道管等破裂		破裂して水が溢出している。		基礎点 + 変状点		☆被害程度の点数と危険度判定☆			
所別記入者の意見	緊急度	被害の判定値		無		+ (防災上問題無し)		無被害： 0 点(防災上問題無し)			
		※基準点に変状点の最大値を加えた点数		大		+ (防災上問題無し)		小被害： 1 ~ 4.5 点未満 (防災上問題無し)			
所別記入者の意見	緊急度	※無被害の場合は基準・被害点の記載無し		中		+ (防災上問題無し)		中被害： 4.5 点~8.5 点未満 (制限付き立入、進行していれば避難)			
		※大見込		小		+ (防災上問題無し)		大被害： 8.5 点~ (危険、要避難、立入禁止)			
所別記入者の意見		緊急度		□大		□中		□小			
※無被害の場合記載無し		□有		□無		□判断不可		□備考：			

例題-4(解答)

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

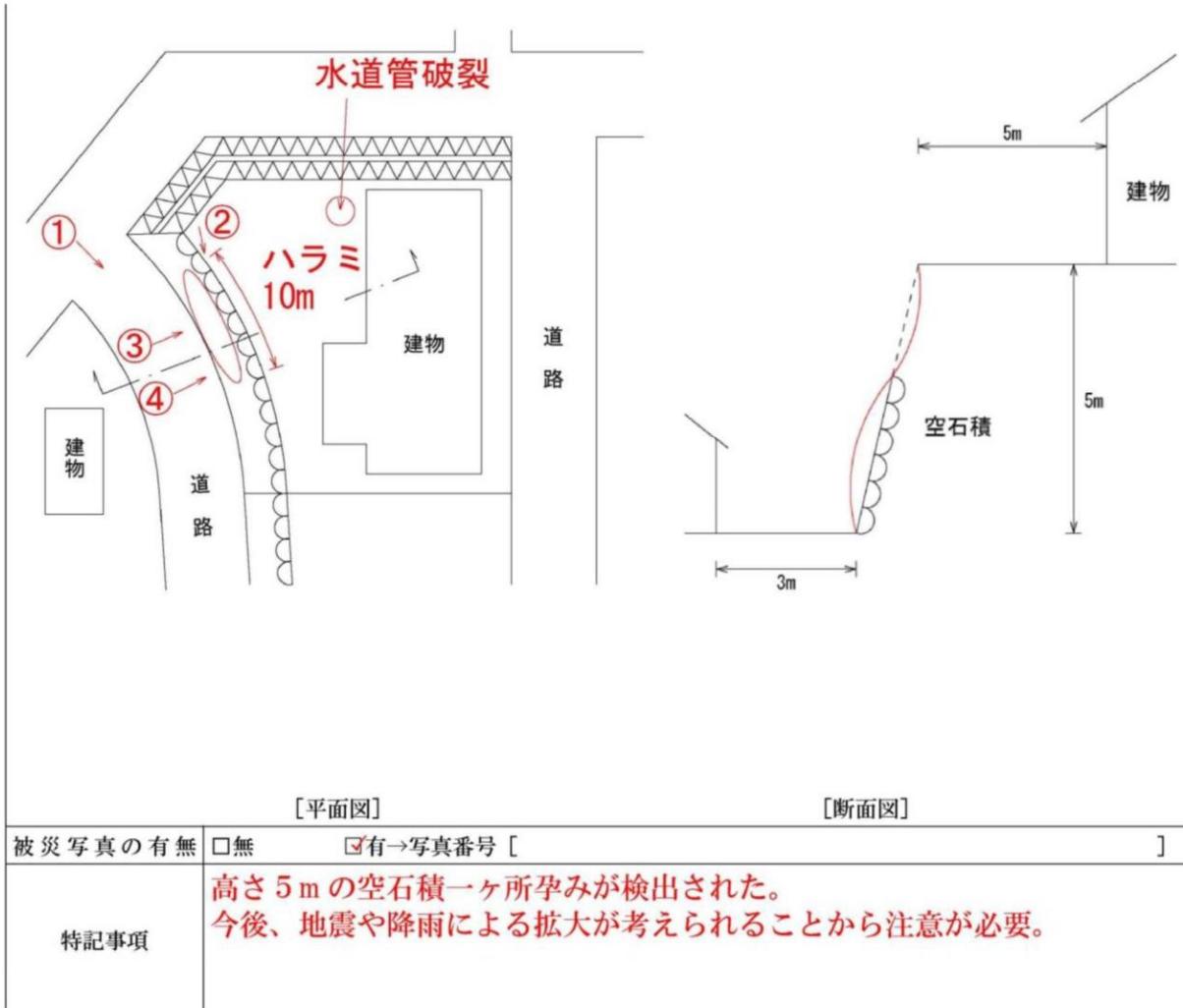
調査票		調査日時	年	月	日	時	調査番号		
		地震名又は降雨災害名							
被害発生場所	都道府県			市郡		区町村			
	地区 団地			丁目		番号			
所有者・管理者氏名			記入者氏名	TEL:					
所有者・管理者の連絡先			TEL:	居住者への説明	<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 居住者不在 <input type="checkbox"/> 老人独居住宅				
写真・図より 被災状況図							<input type="checkbox"/> 応急措置 <input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未了 <input type="checkbox"/> 被災無 <input type="checkbox"/> 簡易記録		
1.クラック		2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損	7.崩壊
									
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷		9.基礎及び基礎地盤の被害	10.排水施設の変状		建物・道路との位置関係(基礎点) 				
					影響範囲外(B)  影響範囲(A) 影響範囲外(B) 1.0H 1.7H				
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。									

解説

被災状況図は、写真・図より、ハラミに○をつけます。

影響範囲は、擁壁の下部が建物まで3mなのでAとなります。

例題-4(解答)



解説
擁壁タイプは、
写真・図より、
空石積で、ハラ
ミを生じていま
す。
擁壁の高さは、
5mとなっていま
す。
また、宅地地盤
内で水道管が破
裂しています。

例題-4(解答)

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	□コンクリート系擁壁	□逆T型 □重力式 □もたれ式 □その他	□増積み擁壁	空石積は構造的に 水抜孔の効果がある為、 天端状況で判断。]] m m
		□練石積擁壁	□間地石 □コンクリートブロック □その他	□二段擁壁		
		□空石積擁壁	□玉石積 □くずれ石積 □間地石 □その他	□張出し床版付擁壁 擁壁の設置条件 擁壁の勾配		
				上部高 m ; 下部高 m	□その他 □切土・盛土境 □軟弱地盤上 □他 □不明 度又は (1 :)	
基礎点	①湧水	乾燥	<input checked="" type="checkbox"/> 建物または道路がある(A)	0	□景観面で建物または道路ない(B)	基礎点計 ①+②+③ 1.0
		潤滑	<input type="checkbox"/> 写真より	0.4	0	
		にじみ出し、流出		0.8	0.2	
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止	<input type="checkbox"/> 0	0	0.4	
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい	<input type="checkbox"/> 0.4	0.8	0.2	
	③高さ	水抜孔無、あっても数・寸法が不適当		0.8	0.4	
		H≤1m	<input type="checkbox"/> 0	0	0	
		1m < H ≤ 3m	<input type="checkbox"/> 写真より	0.2	0.1	
		3m < H ≤ 4m		0.4	0.2	
		4m < H ≤ 5m		0.6	0.3	
		5m < H		0.8	0.4	

解説

基礎点は写真・図より、湧水は無いので0点、天端状況が砂利敷きで水が浸透しやすいため0.4点、擁壁の高さは5mなので0.6点で、合計1.0点となります。

例題-4(解答)

区分	項目	程度 擁壁種類	小						中						大													
			コンクリート	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリート	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリート	練積	増積	2段	張出	空積								
変状形態と変状点	1 クラック	1	2	3	4	5			25	35	4	5	7		4	5	6	7	8									
	2 水平移動	2	25	35	4	6	6		35	4	45	5	7	7	5	55	6	7	9	9								
	3 不規則下・目地の開き	3	35	4	5	7			45	5	6	7	9		6	7	8	9	10									
	4 ハラミ		45	5	6	8	8			6	7	8	9	9		8	9	10	10	10								
	5 傾斜・倒壊	5	55	6	7	8			7	8	8	9	10		8	9	10	10	10									
	6 擁壁の折損	6	65	7	8	9			7	8	9	9	10		8	9	10	10	10									
	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10									
	8 張り出し床板付擁壁の柱の損傷						7						9						10									
	9 基礎及び基礎地盤の被害																			10								
	10 排水施設の変状																			3								
	11 擁壁背面の水道管等破裂																			10								
変状の程度 大・中・小の概要説明	項目/程度		小						中						大													
	1 クラック幅	2 mm未溝のクラックはあるが、機能上の支障なしコンクリート系擁壁の場合2 mm未溝。	2 mm~20 mm未溝 (コンクリート系擁壁の場合2 mm~5 mm未溝)						20 mm以上 (コンクリート系擁壁の場合5 mm以上)						20 mm以上 (コンクリート系擁壁の場合5 mm以上)													
	2 水平移動 (伸縮詰地前後のすれ)	5 mm未溝の隙間変位がある。	5 mm~50 mm未溝の隙間変位がある						50 mm以上の隙間変位がある						50 mm以上の隙間変位がある													
	3 不規則下・目地の開き (目地上下・左右の開き)	5 mm未溝の目地上下のすれ又は目地の開きがある。	5 mm~30 mm未溝の目地の上下のすれ又は目地の開きがある。						30 mm以上の目地の上下のすれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。						30 mm以上の目地の上下のすれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。													
	4 ハラミ (テンションクラック・すれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け(鉄筋が1~2個抜け落ちる)	宅地地盤にテンションクラック無し 円弧すべりのオオそれ無し						宅地地盤にテンションクラック有り 円弧すべりのオオそれ有り						宅地地盤にテンションクラック有り 円弧すべりのオオそれ有り													
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合:天端50 mm未溝の傾斜)	擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合:天端50 mm以上の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合:天端50 mm以上の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合:天端50 mm以上の傾斜)													
	6 擁壁の折損 (傾くなめひずれから起きるもの。はらんでいるが鉛直的でなく、クラックを境に鉛角に折れている)	クラックを境にわざかに角度をなしている。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわざかに角度をなしている。)	クラックを境に明らかに角度をなしておる。 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわざかに角度をなしている。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1 mmでも剪断耐力があり後傾している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1 mmでも剪断耐力があり後傾している。)													
	7 崩壊	中間引りから上が滑っている。	基盤部を残して滑っている。						機能を果たしていない。						機能を果たしていない。													
	8 張り出し床板付擁壁の柱の損傷	支柱にひびが入っている。	支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。													
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。	図より						は目地からの 水抜孔の詰まり、破損あり、排水機能 が失われている。						は目地からの 水抜孔の詰まり、破損あり、排水機能 が失われている。													
	10 排水施設の変状	天端排水溝こすれ、欠損がある。又は、天端指面にクラックが見られる。	図より						は目地からの 水抜孔の詰まり、破損あり、排水機能 が失われている。						は目地からの 水抜孔の詰まり、破損あり、排水機能 が失われている。													
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が漏出している。	破裂して水が漏出している。						☆被害度の点数と危険度判定☆						☆被害度の点数と危険度判定☆													
被害の判定値 ※基礎点に剋みの最大値を加えた点数 ※無効点の場合は基礎・被害点の点数無し			1.0 + 10.0			= 11.0 点			無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1 ~ 4.5 点未溝 (当面は防災上問題無し) 中被害: 4.5 点 ~ 8.5 点未溝 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害: 8.5 点 ~ (危険、要避難、立入禁止)																			
危険度判定			<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無			大被害: 8.5 点 ~ (危険、要避難、立入禁止)																						
所見記入者の意見			<input checked="" type="checkbox"/> 緊急度			<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小			(人命・財産・交通の3点を判定基準とする。)																			
※無効点の場合は最大無し			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大の見込み			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 判断不可			(備考:)																			

写真・図より

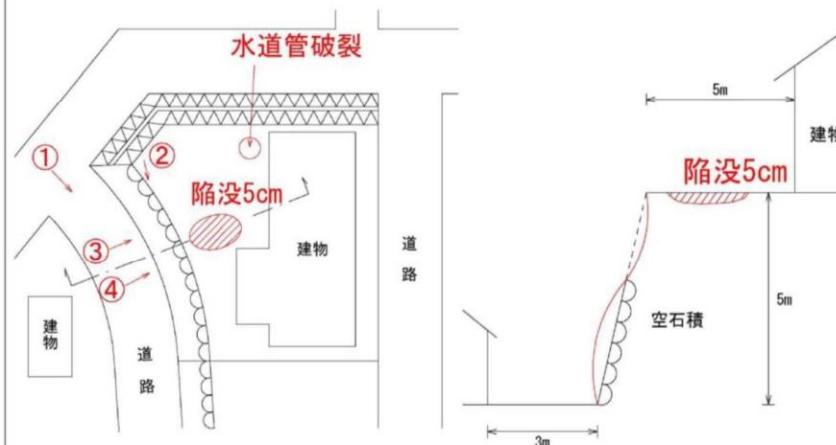
解説

変状点は、写真・図より、円弧滑りのおそれがあり10点となります。水道管破裂があるので○をつけます。したがって、基礎点が1.0点、変状点が10.0点となるため、合計11.0点の大被害となります。緊急度大、拡大の見込み有となります。

例題-4(解答)

(様式-2) 宅地地盤／のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

調査票		調査日時	年	月	日	時	調査番号			
被害発生場所		都道府県 市郡 区町村								
所有者・管理者氏名		記入者氏名	TEL:							
所有者・管理者の連絡先		TEL:	居住者への説明	□済	□未了	□居住者不在	□老人独居住宅			
<被災状況図>							応急措置 □済 □未了 □被災無 □簡易記録			
宅地地盤				のり面・自然斜面						
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.ガリ-浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
5.のり面保護工変状		6.排水施設の変状		※宅地地盤・宅地のり面で簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かれるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害がないことが確認できる全景写真を撮影する。						



〔平面図〕		〔断面図〕	
被災写真の有無	□無	□有→写真番号 []	
特記事項			

解説

次に、宅地地盤でも判定してみましょう。

例題-4(解答)

のり面・自然斜面の基礎的条件							
地盤	岩	<input type="checkbox"/> 軟岩	<input type="checkbox"/> 硬岩	<input type="checkbox"/> 不明	オーバーハング	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
	土 砂	<input type="checkbox"/> 砂質土	<input type="checkbox"/> 膠質土	<input type="checkbox"/> 粘性土	<input type="checkbox"/> 不明	排水施設	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(のり肩、小段排水)
のり面高 (複合のり面は擁壁高含)	最大高 (うち擁壁高)	m(平均高 m)	m	のり面保護工	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 植生土	<input type="checkbox"/> 構造物	
のり面勾配	度			擁壁配置	<input type="checkbox"/> のり面の上部	<input type="checkbox"/> のり面の中部	
のり長さ	m			家屋の有無	<input type="checkbox"/> のり面の下部	<input type="checkbox"/> 全面	
上部 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 : 下部 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無							
変 状 形 狀 と 配 点 表							
宅地盤	変形状態のチェック(複数可)	小	中	大			
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3~15 cm未満又は複数	3	15 cm以上又は全面	5
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20~50 cm未満	4	50 cm以上	6
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10~25 cm未満	4	25 cm以上	7
	4 段差(段差量)	20 cm未満	3	20~50 cm未満	5	50 cm以上	8
	5 隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20~50 cm未満	8	50 cm以上	9
	6 溝水、噴砂	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→+1点(上の点数に1点加える)					
のり面・自然斜面	変形状態のチェック(複数可)	小	中	大			
	1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複数	2	15 cm以上又は全面	3
	2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5
	3 ガリー浸食	クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた段階。	6	のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広がるおそれのあるもの。	7	洞穴状や滲壺状にガリーが進展して家屋の基礎やのり面等の下側に被害を及ぼすような状態。	8
	4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。	7	表層すべりが進んでえぐり取られたような状態。放置すると拡大するおそれのあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9
	5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間詰め陥没。又はコンクリート吹付工にわずかにテンションクラックが見られるが吹付工のすれば認められない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没。それが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9
	6 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	3	左に加え、のり面のクラック、又は目地からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が失われている。	7
	7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。					8
	8 湧水、落石・転石	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→+1点(上の点数に1点加える)					
	被害の判定値 ※基礎点に突出点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	<input type="checkbox"/> 点	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害: 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害: 4~7 点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害: 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)				
危険度判定	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無	(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)					
所見記入者の意見 ※無被害の場合は記載無し	緊 急 度	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 小	(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)				
	拡大の見込	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 判断不可	(備考:)				

例題-4(解答)

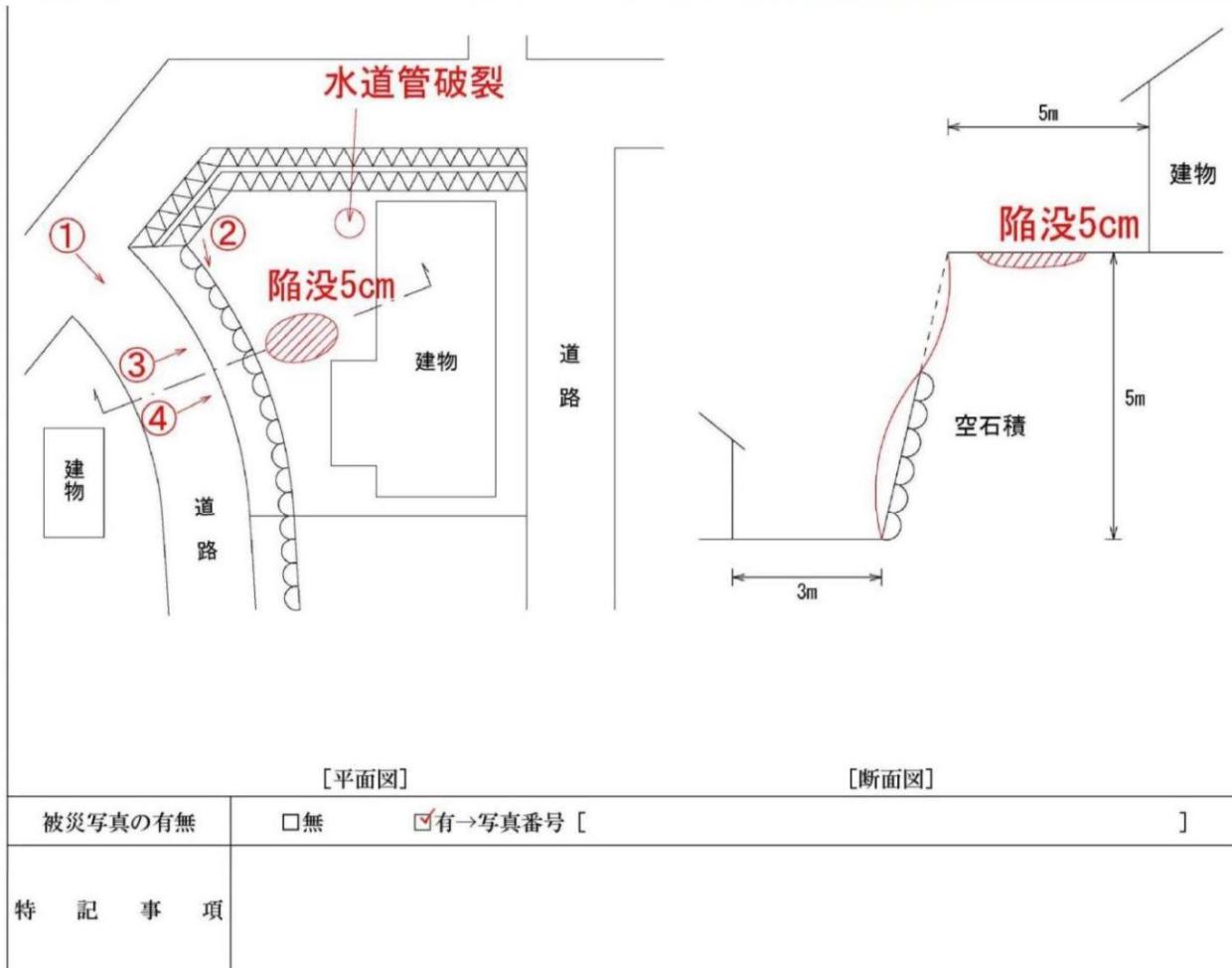
(様式-2) 宅地地盤／のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

調査票		調査日時	年 月 日 時			調査番号				
		地震名又は降雨災害名								
被 告 発 生 場 所		都道府県			市 郡		区 町 村			
					地区 団地		丁目	番 号		
所有者・管理者氏名				記入者氏名	TEL:					
所有者・管理者の連絡先		TEL:	居住者への説明		<input type="checkbox"/> 済	<input type="checkbox"/> 未了	<input type="checkbox"/> 居住者不在	<input type="checkbox"/> 老人独居住宅		
写真・図より <被災状況図>							応急措置	<input type="checkbox"/> 済	<input type="checkbox"/> 未了	
							<input type="checkbox"/> 被災無	<input type="checkbox"/> 簡易記録		
宅地地盤					のり面・自然斜面					
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.ガリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
5.のり面保護工変状		6.排水施設の変状		※宅地地盤・宅地のり面で簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かることで判定結果を住宅地図上に記載し、被害がないことが確認できる全景写真を撮影する。						

解説

被災状況図は、宅地地盤の陥没に○をつきます。

例題-4(解答)



解説

宅地地盤は、擁壁の天端付近で5cmの陥没が生じています。

例題-4(解答)

のり面・自然斜面の基礎的条件						
地盤	岩	<input type="checkbox"/> 軟岩 <input type="checkbox"/> 硬岩 <input type="checkbox"/> 不明	オーバーハング	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
	土 砂	<input type="checkbox"/> 砂質土 <input type="checkbox"/> 礫質土 <input type="checkbox"/> 粘性土 <input type="checkbox"/> 不明	排水施設	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(のり肩、小段排水)		
のり面高 (複合のり面は擁壁高含)	最大高 (うち擁壁高)	m(平均高 m)	のり面保護工	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 植生土 <input type="checkbox"/> 構造物	<input type="checkbox"/> のり面の上部 <input type="checkbox"/> のり面の中部	
のり面勾配	度		擁壁配置	<input type="checkbox"/> のり面の下部	<input type="checkbox"/> 全面	
のり長さ	m			家屋の有無	上部 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	: 下部 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
図より 变 状 形 態 と 配 点 表						
宅 地 地 盤	変形状態のチェック(複数可)	小		中		大
	1 クラック(幅)	3 cm未満	1	3~15cm 未満又は 複数	3	15cm 以上又は全面
	2 陥没(深さ)	20 cm未満	2	20~50 cm未満	4	50 cm以上
	3 沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10~25 cm未満	4	25 cm以上
	4 段差(段差量)	20 cm未満	3	20~50 cm未満	5	50 cm以上
	5 隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20~50 cm未満	8	50 cm以上
	6 湧水、噴砂	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→+ 1点(上の点数に 1点加える)				

解説

変形状点は,陥没が20cm未満なので2点,湧水・噴砂は無いので無にチェックをつけます。
湧水, 噴砂はありませんので, 無にチェックしてください。

例題-4(解答)

変形状態のチェック(複数可)		小		中		大	
1 クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複数	2	15 cm以上又は全面	3	
2 ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5	
3 ガリー浸食	クラックなどが誘因となって雨滴による浸食が現れはじめた段階。	6	のり面の表土が雨裂に陥没するなど放置していると被害が広がるおそれのあるもの。	7	洞穴状や滝壺状にガリーが進展して家屋の基礎やのり面等の下側に被害を及ぼすような状態。	8	
4 滑落・崩壊	部分的な表層すべり、又はのり面上部の小崩壊。	7	表層すべりが進んでえぐり取られたような状態。放置すると拡大するおそれのあるもの、又はのり面中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊で、さらに拡大のおそれがあるもの、又はのり面底部を含む全崩壊。	9	
5 のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間詰め陥没。又はコンクリート吹付工にわずかにテンションクラックが見られるが吹付工のすれは認められない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9	
6 排水施設の変状	天端排水溝にすれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。	3	左に加え、のり面のクラック、又は目地からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が失われている。	7	
7 のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。						8
8 湧水、落石・転石	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有→1点(上の点数に1点加える)						
被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">2</div> 点		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1~3 点(当面は防災上問題無し) 中被害： 4~7 点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害： 8~10 点(危険、要避難、立入禁止)				
危険度判定	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 無		(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)				
所見記入者の意見 ※無被害の場合は記載無し	緊急度	<input type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 小	(人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)				
	拡大の見込	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 判断不可	(備考：)				

解説

判定値は、陥没の2点となるため、小被害となります。

実際には、空石積擁壁の判定が高くなりますので、宅地地盤での判定は省略して構いません。